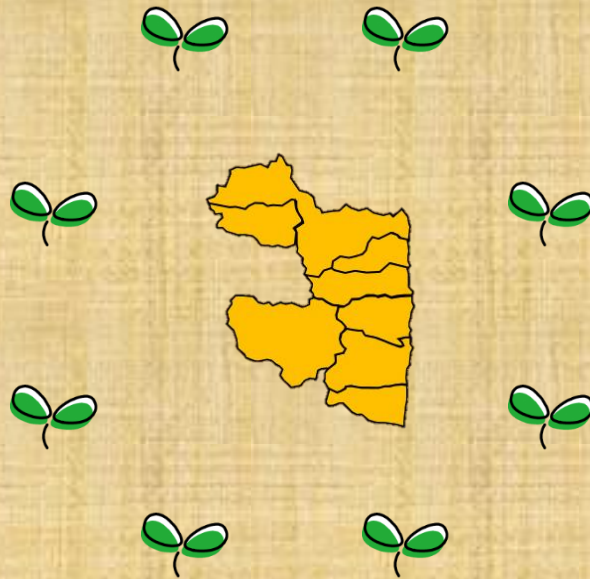


双葉地域における関係人口拡大に 向けた施策提言について



2021年1月

ふたばの交流・関係人口拡大を考える会

福島県ふたば復興事務所
国立大学法人福島大学うつくしまふくしま未来支援センター相双地域支援サテライト

関係人口拡大に向けた施策

1. みんなで創ろう！地域の宝ブラッシュアップ事業
2. 「コト返礼」によるふるさと納税者レベルアップ事業
3. ふたばの感動合宿支援事業
4. ふたばの「キラ人」^{ひと}オンリーワン魅力発信事業
5. 沸き上がれ地域愛！つながるアイディア甲子園事業

みんなで創ろう！地域の宝ブラッシュアップ事業

●検討の元となった双葉郡の現状認識・地域課題●

双葉郡には、震災前から電源立地地域の財源を活用した公的施設等が数多くあるが、震災後の利用者減少や管理する人手不足などの要因により、魅力ある誘客・憩いの場として、十分に活かされていないのではないか？

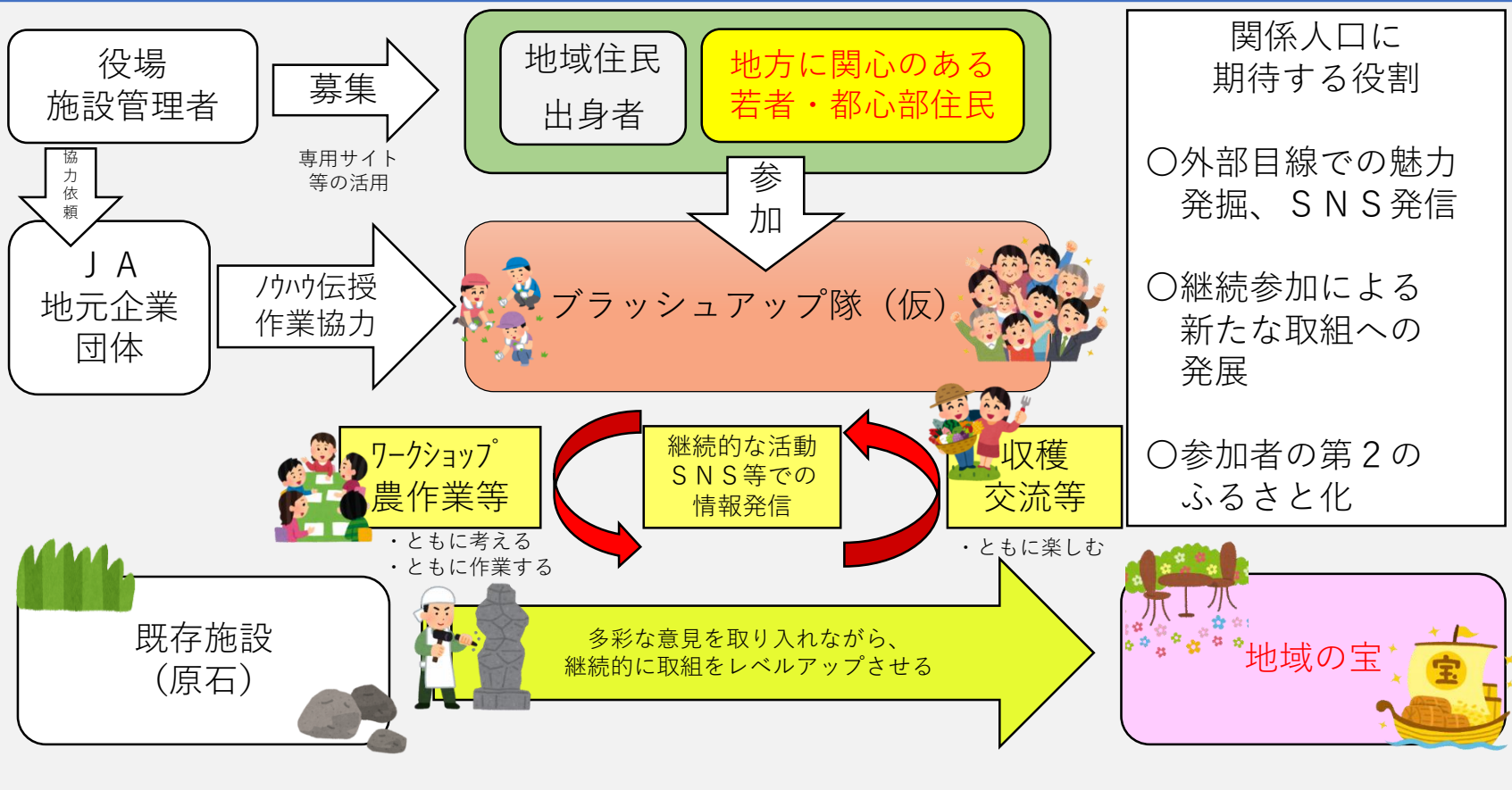
テーマ

みんなで創ろう！地域の宝ブラッシュアップ事業

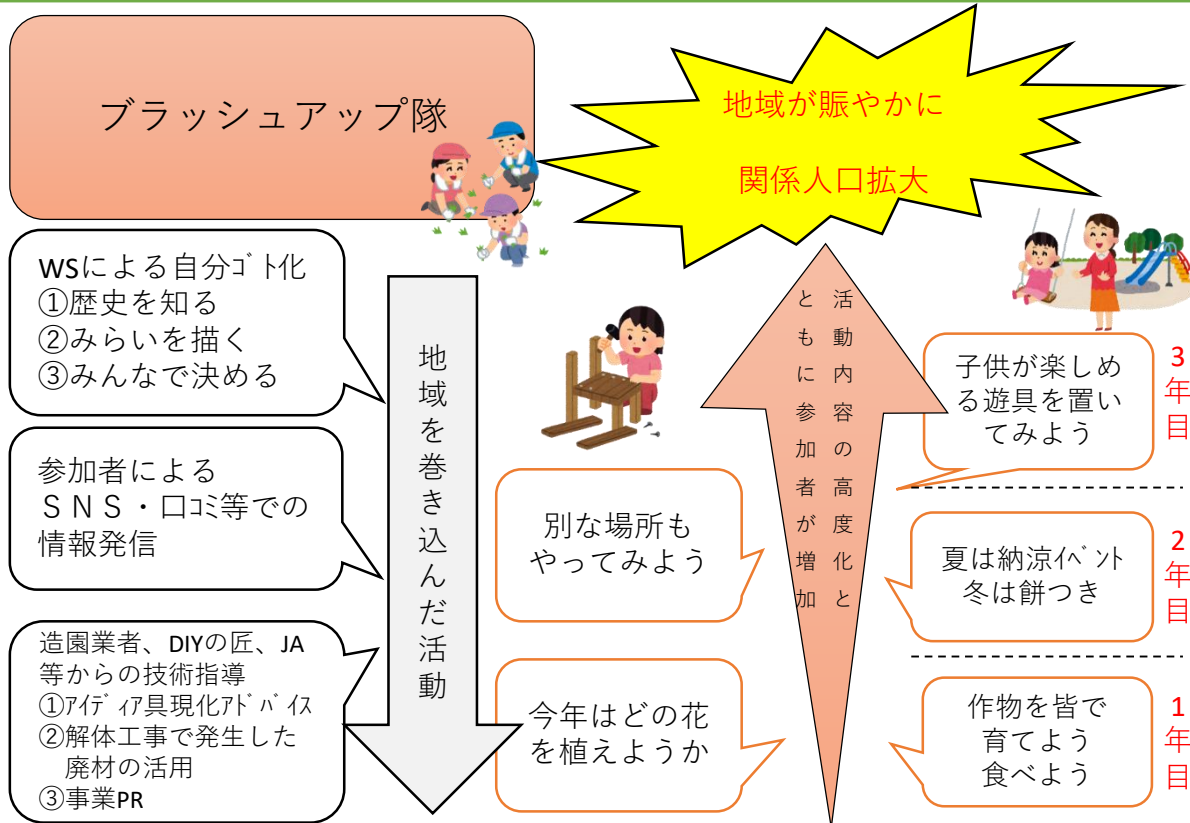
事業の概要

地域の更なる活力アップを図るため、郡内の既存施設の遊休箇所（例：各町村の公園施設やJヴィレッジ、あぜりあ等のロータリー、施設周辺などの未活用エリア）を「憩いの場」化する。場づくりの構想から整備・完成まで、地域外からの新たな視点と地域の特色を融合させた協働デザインを行う。地域を学び、主体的に検討・作業していく事業プロセスを通じ、参加者を関係人口化させる。

取組イメージ



想定される事業効果（花壇整備の例）



ブラッシュアップ隊

地域が賑やかに

関係人口拡大

WSによる自分ゴト化

- ①歴史を知る
- ②みらいを描く
- ③みんなで決める

参加者による
SNS・口コミ等での
情報発信

造園業者、DIYの匠、JA
等からの技術指導
①アイデア具現化アドバイス
②解体工事で発生した
廃材の活用
③事業PR

地域を巻き込んだ活動

別な場所も
やってみよう

今年はこの花
を植えようか

活動内容の高度化と
参加者の増加

子供が楽しめる
遊具を置いて
みよう

夏は納涼イベント
冬は餅つき

作物を皆で
育てよう
食べよう

3年目

2年目

1年目

どこかの
花壇

ブラッシュアップ

憩いの場
地域の宝

- ※①日常の管理は既存施設の管理者が行うが、隊員も管理や手入れに積極的に関与し、WIN-WINの関係に。
②芽が出た、花が咲いた等の現状をその都度SNS等で隊員に情報提供。
③隊員はWSでの話し合いの場や種まき等の作業、収穫体験等の状況をSNS等で拡散する。

参考事例

- 富山県舟橋村 「園むすびプロジェクト」
URL : <http://enmusubi-funahashi.com/>
- 長野県高森町 「段丘林プロジェクト」
URL : <https://www.town.nagano-takamori.lg.jp/soshiki/4384.html>
- 大阪府 「泉佐野丘陵公園沙財型公園づくり」
URL : <http://izumisano-kyuryo.jp/>
- 岩手県釜石市 「創作農家こすもす」
URL : <http://www.sousakunoukacosmos.net/index.html>

事業展開想定施設

- | | | |
|-----|------------|--------------------------------------|
| 広野町 | 築地ヶ丘公園 | ニツ沼総合公園 |
| 檜葉町 | 道の駅ならば | 「Jヴィレッジ」
(ロータリー、ピッチ間、歩道沿いの空地) |
| 富岡町 | 天神岬スポーツ公園 | 笑ふるタウン
学びの森 富岡・夜ノ森駅
総合スポーツセンター |
| 川内村 | いわなの郷 | かわうちの湯 天山文庫 |
| 大熊町 | 大河原地区交流ゾーン | 庁舎前広場 |
| 双葉町 | 双葉駅 | エフビック |
| 浪江町 | いこいの村なみえ | 道の駅なみえ
請戸小学校 |
| 葛尾村 | あぜりあ | せせらぎ荘 大尽屋敷跡 |

事業開始年度の事業展開イメージ（花壇整備の例）



花壇整備以外の事業例

島根県邑南町

「おおなんDIY木の学校」

<https://npo-hasumi.org/school-of-wood/>

地域の課題となっている空き家の再生の現場を学校の教室と見立て、地域にある資源を活かした「田舎リノベ」の技能習得に加え、参加者がサステナブルな地域づくりに貢献する事業。

主に、以下の3つを習得可能。

①DIYリノベ技能

民間資格「DIYマイスター」の取得

②古民家再生手法体験

WS等を通じた地域課題解決の実践方法

③仲間づくり

リノベ型DIY物件に滞在し、仲間と共に過ごす



愛知県岡崎市

「里山×自転車による地域づくりプロジェクト」

https://www.soumu.go.jp/kankeijinkou/model_detail/r02_19_okazakishi.html

「自転車」をキーワードに、地域とサイクリストをつなぎ合わせ、里山の新たな魅力・地域づくりを行う。主に以下の3つの取組により参加者の関係人口化を図る。

①道路や遊歩道の清掃活動の実施

観光名所の遊歩道をきれいにしてもらうことで里山を保全し、また地域の方との関わりを深める。

②林道を活用したマウンテンバイクコースづくり

参加者と地域が協働で楽しみながらマウンテンバイクコースを考案。参加者には地域の住民と関わりながら、山村地域の自然環境の良さや林業の魅力を知ってもらう。

③サイクルイベントの実施

②のコースを利用して、初心者でも楽しめる体験型アクティビティを実施。サイクリストだけではなく、子供連れの家族など幅広く対象とする。自然や地元の食など、地域の魅力をより多くの人に体感してもらうことで、地域のファンや新たに活動に参加してくれる人を増やす。



「コト返礼」によるふるさと納税者レベルアップ事業

●検討の元となった双葉郡の現状認識・地域課題●

双葉郡の町村では、それぞれふるさと納税寄付者に対して工夫を凝らした返礼品（電気・米.etc）を送る取組を進めているが、すべて「モノ」の返礼であり、他地域で見られるような「コト」（体験）の返礼は見当たらない。
元々被災地の復興を後押ししたいという気持ちを併せ持つ寄付者に対して、新たに「コト」（体験）の返礼を提供できれば、更なる交流に繋がるのではないか？

関係人口レベル (小) (大)
 事業難易度 ★★★★★☆
 予算規模 ★★★★★☆

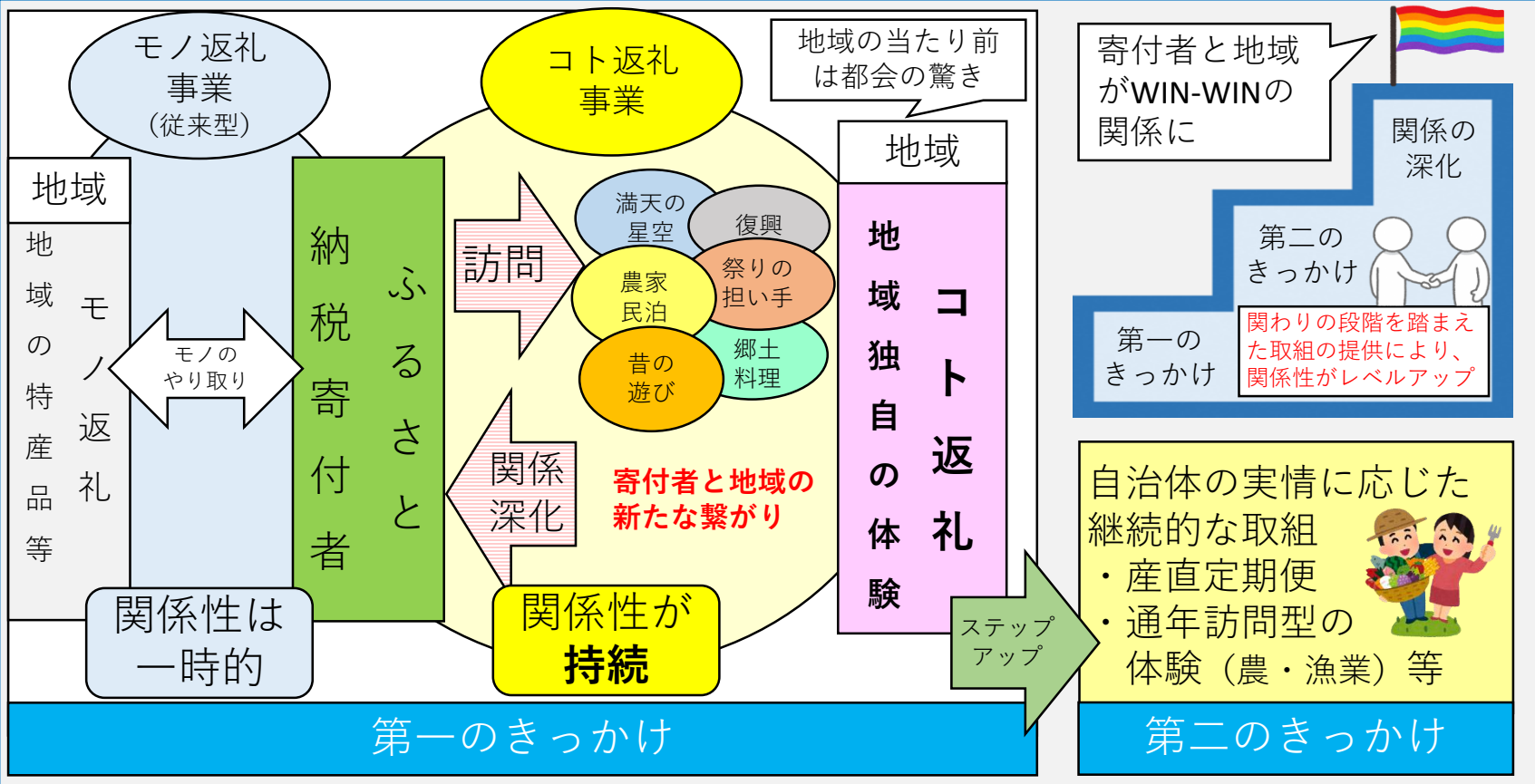
テーマ

「コト返礼」によるふるさと納税者レベルアップ事業

事業の概要

既に関係人口と言える寄付者を更に一歩進んだ地域のリピーター・担い手へステップアップさせるため、ふるさと納税寄付制度の返礼について、従来のラインナップに加え、体験型返礼品（コト返礼）を導入する。実際に寄付先の地域へ足を運んでもらい、その地域でしか経験できないローカルカラー溢れる体験をしてもらうことにより、魅力の再発見や地域愛の深化につなげるほか、滞在による地域経済活性化等、様々な波及効果が期待できる。

取組イメージ



全国各地の「コト返礼」事例

【三重県尾鷲市】

「地魚サバキ体験付漁村暮らし体験」

- ・1泊2日40,000円（ペア）
- ・キーワード：「魚がさばけるってちょっとかっこいい」
- ・漁村の宿を拠点に魚の捌き体験やダイビング等体験可能。



【群馬県前橋市】

「上毛電鉄デキ3021 運転体験」

- ・1日60,000円（ペア）
- ・上毛電気鉄道にて実施している「運転体験ツアー」参加
- ・1人2往復（片道約120m）運転
- ・講習や体験後の修了証授与あり



【福島県二本松市】

「エビスサーキット ドリフトタクシー体験」

- ・1日100,000円（最大3名）
- ・エビスサーキットにある大小様々なコースを約1時間かけてめぐる。
- ・今までになかった新感覚のアクティビティ。



【和歌山県有田市】

「無人島（地ノ島）BBQ × キャンプ」

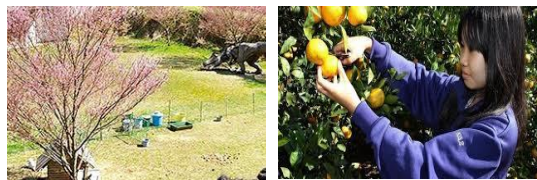
- ・1泊2日110,000円（4名）
- ・絶景が広がる無人島でBBQ、キャンプ、マリンスポーツ体験
- ・事務局でキャンプセットを準備しており、気軽に自然体験可能。



【鹿児島県湧水町】

「グリーンツーリズム体験農家民宿」

- ・1泊2日50,000円（ペア）
- ・緑に囲まれたのどかな農家で、四季を感じる宿泊体験
- ・ブルーベリー狩りやジャム作り、ピザ焼き体験、そば打ち体験などが可能。



【福島県福島市】

「古民家で織る 世界で一枚、自分だけの『絹ストール』」

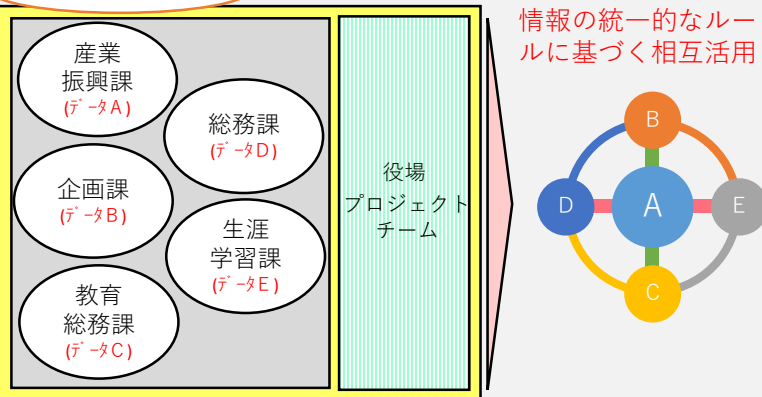
- ・2泊3日160,000円
- ・緑に囲まれた静かな古民家で日々のストレスを忘れ制作に没頭。
- ・近隣の飯坂温泉入浴や食事も含まれる。
1日目：つむぎ糸の草木染め
2日目：織物 3日目：織物完成



今後の展開：関係人口予備軍データの有効活用について

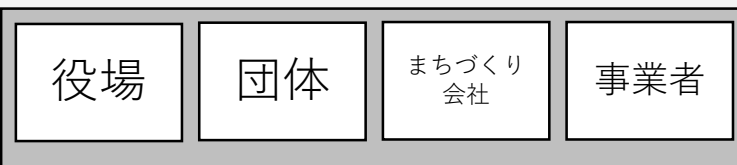
ふるさと納税寄付者情報に限らず、地域と既に接点を持つヒトの情報（イベント参加者、ファンクラブ会員等）は各所に点在している。その情報が関係人口拡大施策と紐づけされ、効果的な提案がなされれば、より多くの関係人口獲得が可能。

ステップ1



庁内横断的なプロジェクトチームを設置し、関係人口拡大に活用可能な各課が保有する既存情報（ビッグデータ）の把握や、効果的な発信を行うためのルール（相互活用等）作りを行う。

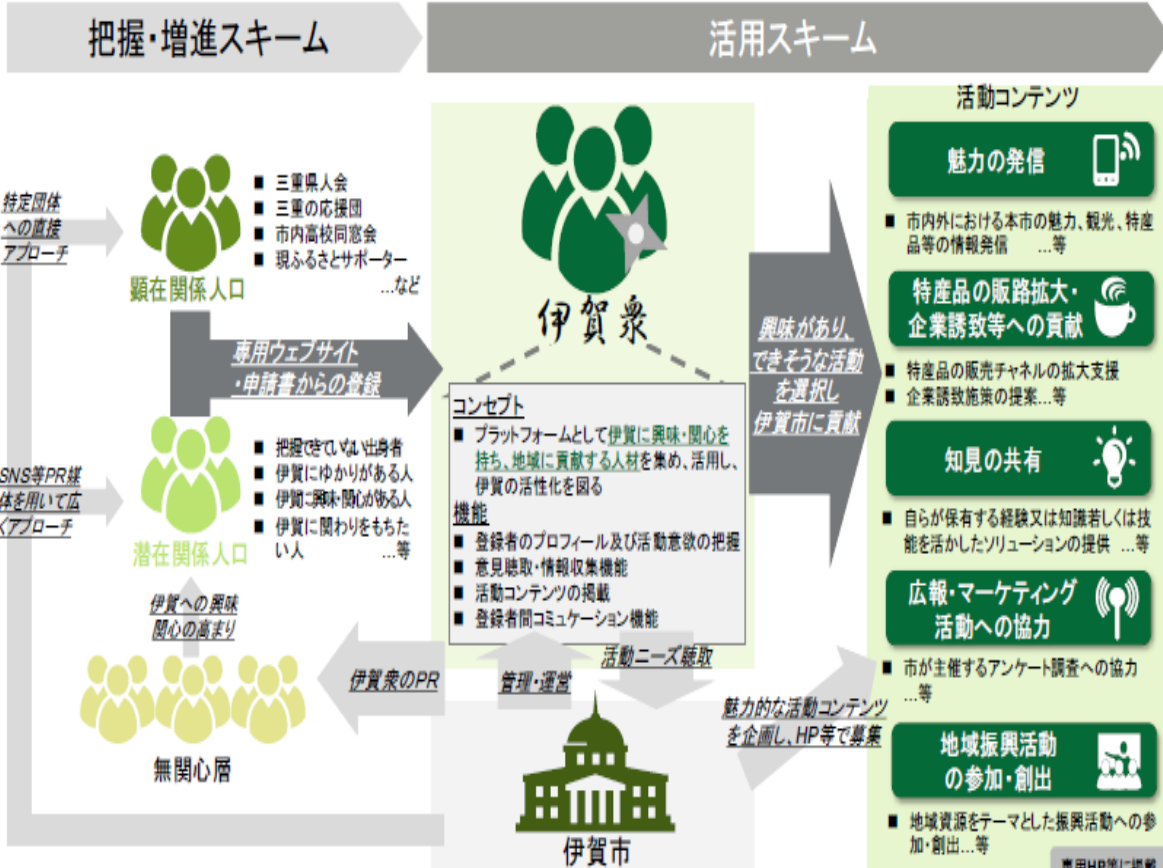
ステップ2



ふたばビッグデータ活用推進協議会

役場の取組を地域に波及させる推進協議会を設置。地域全体で関係人口拡大施策を推進するための協力体制を築き、推進の効率化を図る。

データの有効活用事例 三重県伊賀市「伊賀衆制度」



参考事例

検索

- ・新潟県 長岡市 「長岡ファン拡大事業」
URL : https://www.soumu.go.jp/kankeijinkou/model_detail/pdf/r01_09_nagaokashi_01.pdf
- ・福井県 坂井市 「『百口城主』市政参画プロジェクト」
URL : <https://www.city.fukui-sakai.lg.jp/kikaku/shisei/kifu/furusato/hyakkuchijyosyu.html>
- ・三重県 伊賀市 「IGABITO」
URL : <https://www.city.iga.lg.jp/0000004730.html>
- ・山梨県 「"REBIRTH!" 『ふるさとやまなし』プロジェクト」
URL : <https://www.pref.yamanashi.jp/c-jinko/kannkei.html>
- ・鹿児島県 志布志市 「志布志熱上昇プロジェクト」
URL : https://www.soumu.go.jp/kankeijinkou/model_detail/pdf/r01_11_shibushishi_01.pdf
- ・新潟県 燕市 「燕(えん)でつながる地域活性化事業」
URL : https://www.soumu.go.jp/kankeijinkou/model_detail/r01_02_tsubameshi.html



ふたばの感動合宿支援事業

●検討の元となった双葉郡の現状認識・地域課題●

双葉郡には、Jヴィレッジを始めとするスポーツ・研修施設が数多くあり、震災前は、温暖な気候を活かし通年で「合宿の里」としての誘致活動に取り組んできた。

震災後もその環境面での優位性は損なわれておらず、さらに、被災地としての学び（復興学）を提供するという新たな強みを活かした誘致活動ができるのではないか？

関係人口レベル (小) ★★☆☆☆ (大)
 事業難易度 ★★☆☆☆
 予算規模 ★★★★★

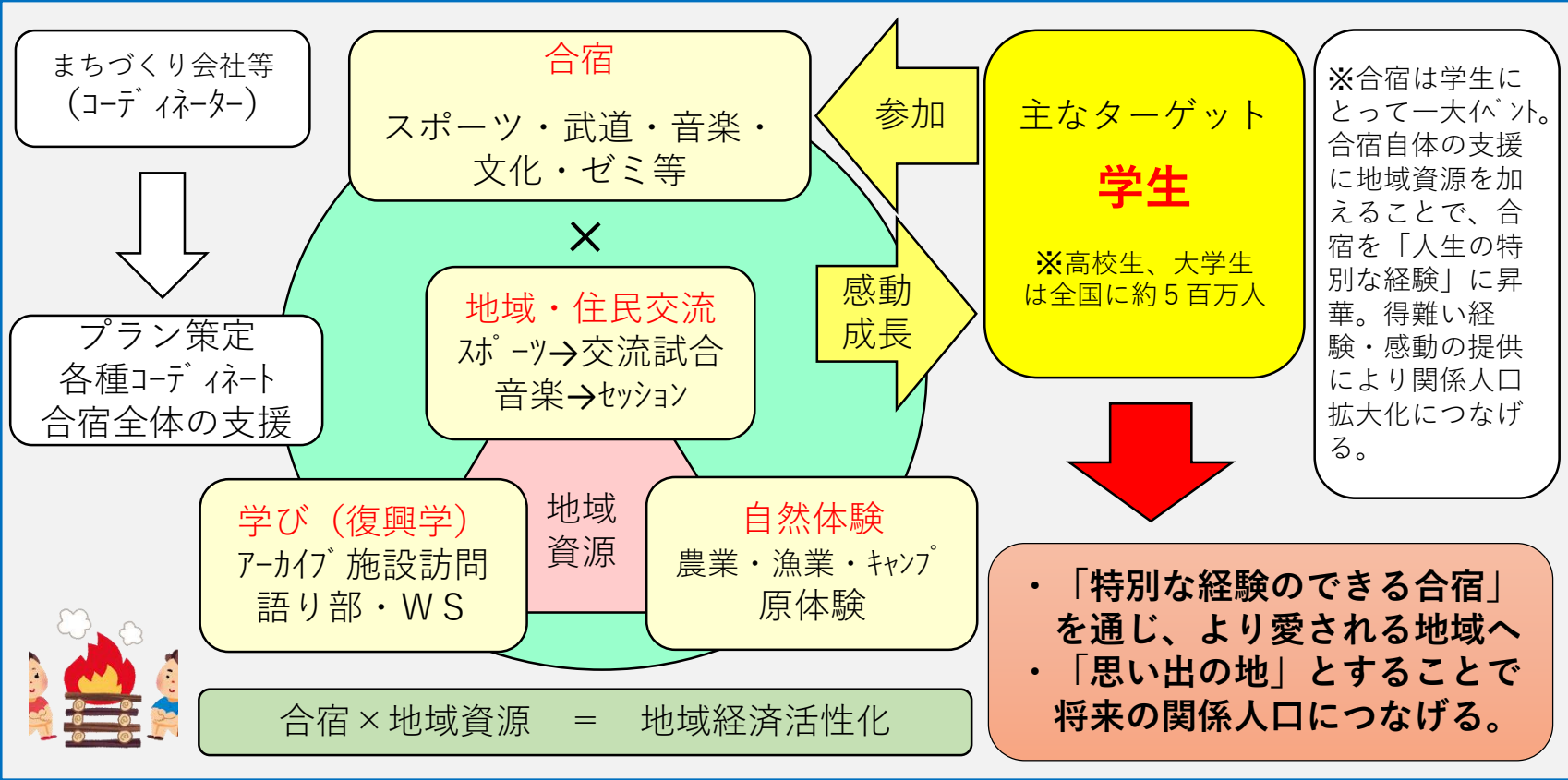
テーマ

ふたばの感動合宿支援事業

事業の概要

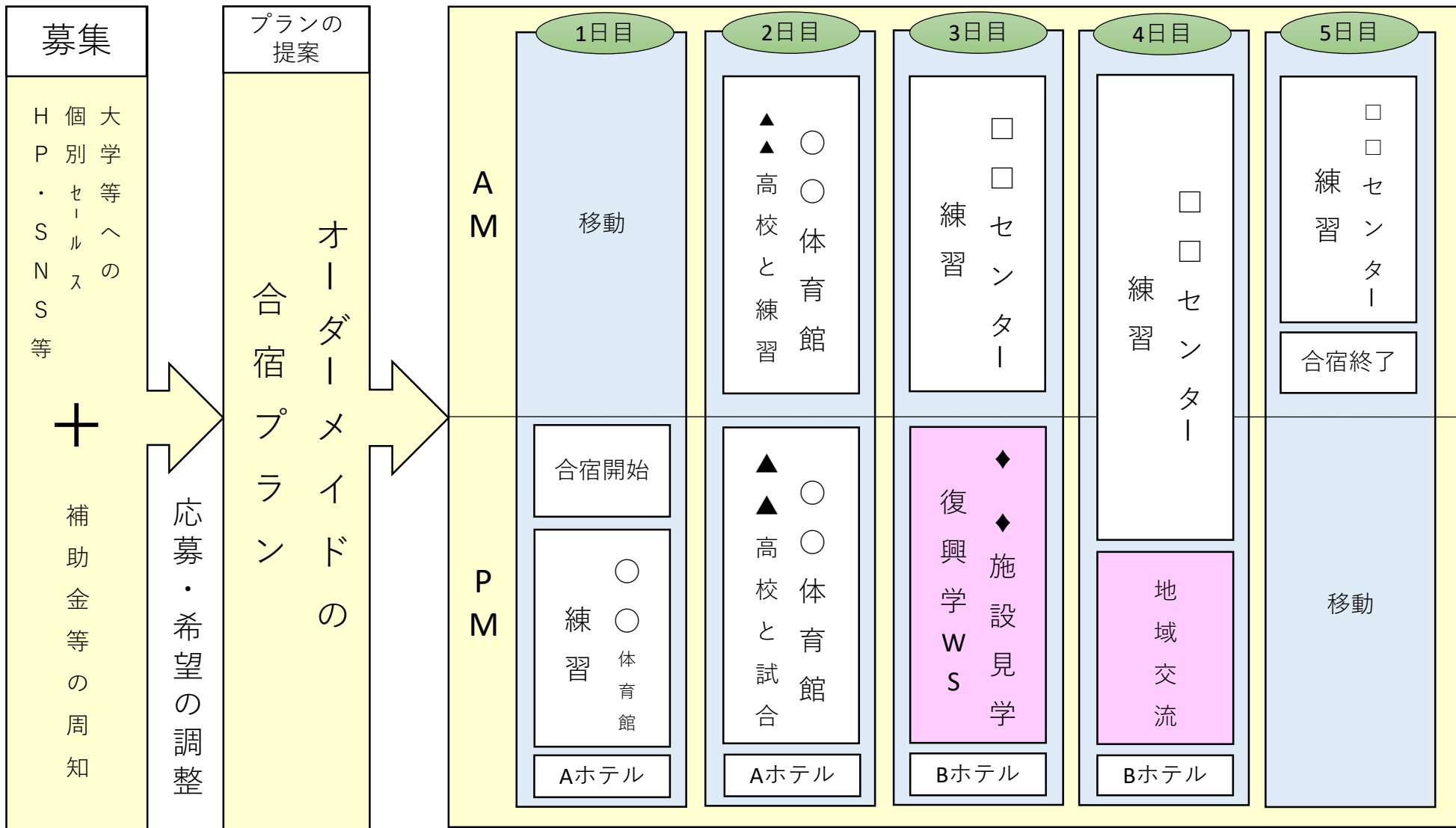
大学等の各種合宿を誘致するため、まちづくり会社等に合宿コーディネーターを配置し、地域資源（人・自然・社会環境等）を活かしたオーダーメイド型の合宿プランを提供し、合宿運営全体をサポートする。合宿希望団体に対し、会場、宿泊先、移動手段の手配等のほか、地域の特色あるプラン（自然体験、復興学の提供等）を提供し、合宿参加者に+αの感動と成長を与え、関係人口へと誘う。
 学生は部活動やサークルに所属している場合、年に一度は何らかの合宿を行っているため、それらの合宿ニーズを積極的に取り込み地域活性化・関係人口拡大を図る。

取組イメージ



スポーツ合宿誘致例

合宿コーディネーターが全体支援



補助金の例

- ・ 1人泊あたり3,000円補助（必要に応じて上限設定あり）
- ・ バス代5万円補助
- ・ 要件 10名以上参加、2泊以上（地元宿泊施設利用）、地域交流体験を必須とする 等

予算（案）

- ・ （合宿1回4泊12,000円補助×20名）×20団体/年=480万円
- ・ バス5万円×20団体/年=100万円
- ・ 合計580万円

参考事例：高知県黒潮町「砂浜美術館・sunabiスポーツ」



合宿・大会開催を一括サポートします！

- 準備および片づけ (水の準備含む)
- 大会パンフレットの作成
- 会場の手配
- 宿泊の手配
- 試合相手の調整
- お弁当の手配
- 合宿・大会等の助成金制度のご案内・サポート
- 自然体験プログラムや砂浜トレーニングなどのコーディネート



黒潮町の人びと

sunabiスポーツ
(NPO砂浜美術館)

スポーツをするみなさま

合宿時に使用する主な施設 (文化・体育施設)

広野町	Jヴィレッジ	ニツ沼総合公園	中央体育館
檜葉町	Jヴィレッジ	ならはスカイアリーナ	コミュニティセンター
富岡町	総合スポーツセンター	学びの森	
川内村	村民体育センター	コミュニティセンター	
大熊町	住民福祉センター		
双葉町	エフ・ビック		
浪江町	地域スポーツセンター		
葛尾村	健康増進センター		

ふたばの「キラ人」^{ひと} オンラインワン魅力発信事業

●検討の元となった双葉郡の現状認識・地域課題●

双葉郡へ都市住民を呼び込む移住促進策を考えたとき、景観・地場産品など一般的なPRのみでは、風光明媚な全国の有名観光地には勝てないが、震災後、被災地の復興に向けて様々な活動に取り組む“おもしろ”人材を地域資源としてPRできないか？

関係人口レベル ① ②
 事業難易度 ★★★★★☆
 予算規模 ★★★★★☆

テーマ

ふたばの「キラ人」^{ひと} オンリーワン魅力発信事業

事業の概要

田舎暮らしに憧れを持つ都市住民（都会暮らしに違和感を抱く人、田舎で今までと違った自分を発揮したい人）に向けた「田舎暮らし情報マガジン（WEB等）」を制作する。都市住民が関わりたい地域を選択する際に決め手となるのは、「こんな人が住んでいて、こんな仕事をしながら自分の趣味を活かしてイキイキと暮らしている」というリアルな「生き方・暮らし方」の情報である。そこで、地域のオンリーワンの魅力を発信するため、そこに暮らす「キラ人」にスポットを当て、彼らを通じて田舎での潤いや活力ある生活、働き方、地域の歴史や文化等を紹介する。

取組イメージ

オンリーワンの魅力

ワーク
スタイル

趣味

歴史
文化

つながり

役場 まちづくり会社 有志 等
地域の「キラ人」を発見・編集



「キラ人」が輝いている背景の深掘り（豊かな地域資源の存在、活力ある暮らしぶり、様々な関わりやきっかけ、自慢、失敗談など）により、都市部と地域をつなぐ関係案内ツールとして活用する。

新たな出会い
への期待

移住や就労
の検討

キラ人を
軸に発信

- ・働き方、暮らし方の見直しへのヒント
- ・関わり方への不安の解消


田舎に憧れを抱く都市住民

キラ人紹介例1：（キラ人のある1週間を紹介【WEBデザイナー編】）

	月	火	水	木	金	土	日
AM	日課のランニング						
PM	仕事	仕事	東京出張	仕事	仕事	浜通りをドライブ	イベント運営
						近隣の温泉でリフレッシュ	イベント撤収
	趣味の時間	地域交流 バレーボール	趣味の時間	地域交流 有志による イベント企画	地域交流 バレーボール	イベント 開催準備	反省会 (BBQ)




仕事



仕事は基本的に**在宅ワーク**。全国の取引先とオンラインで打合せを行ったり、WEB設計業務を精力的にこなします。

週に1度の東京出張。最先端の空気に触れつつ、新規開拓プレゼンや既存取引先をフォローしています。



仕事への活力

地域交流



地域の**バレーボールサークル**に所属し、週に2回参加しています。大会や懇親会なども毎回大盛り上がり。

日々の疲れは飲み会で発散！気心の知れた仲間と**地域・将来のことについて語り合います**。



イベント参加



この日は地域有志による**マルシェを開催**。リピーターも増えつつあり、手応えを感じています。

撤収後は協力してくれた仲間に感謝の気持ちを込めて**乾杯！**次の開催に向けて鋭気を養います。



交流の輪の広がり

キラ人紹介例 2：（インタビュー形式）



（写真：自宅脇の畑で作業するAさん）
※写真はイメージ

今回ご紹介するのは〇〇村△△でWEBデザイン業を営むAさん（32）。茨城県出身で、もともとは東京でサラリーマン生活をしていましたが、都会での窮屈な生活を変えたいと一念発起。学生時代に〇〇村で自然体験をしたことが強く印象に残っており、少しずつ〇〇村との関わりを深めていきました。そして、3年前に〇〇村へ移住し、**前職のWEBデザインスキルを活かした事業を開業**。私生活では、田舎暮らしの実体験をSNSで発信する傍ら、田舎ならではの**スローライフ生活に凝り始め**、昨年からは近所の皆さんからの協力のもと**★★★栽培を始めています**。そんなAさんに、〇〇村での生活やご自身の変化、その他諸々気になることについて編集部のBが伺いました。

（取材日：2020年11月）

対談形式により、臨場感や話し手の個性も表現

B 本日はよろしくお願ひします。

A こちらこそお願ひします。

B 月並みですが、〇〇村に移住したきっかけを教えてください。

A 小学生の頃に、ここで夏休みの自然体験教室があって参加したんです。生まれは茨城県ですけど、親の仕事の関係でずっと東京にいたので、田舎は不便なのかなぁ、という何となくのイメージしか持っていなかったのですが、実際に行ってみたら、滞在先の農家のじいちゃん・ばあちゃん達が皆とんでもなく優しく、自分の孫みたいに接してくれて。

そして、夜に天体観測をした時に見た満天の星空に衝撃を受けました。東京では決して体感できない大自然やそこで暮らす人の温かさに触れたことが、原体験としてずっと心の片隅に残っていました。

その後も東京で生活していたのですが、ある時を境に、**このまま一生都会暮らしを続けてもいいのか、自分のスキルを活かせばどこでも仕事ができるんじゃないか**、という漠然とした思いを抱えるようになりました。

自問自答を繰り返す中で、ふと〇〇村の星空やじいちゃんばあちゃんの顔が浮かんできて、ちょっと気分転換がてらに〇〇村に行ってみようか、くらいの軽い気持ちで友人と〇〇村に行ってみたら、**子供の頃に体験したあの風景が変わらず残っていたんです**。

そこからは一気に〇〇村の魅力にのめりこんでしまい、何かと理由をつけて地域の田植えやお祭りに参加するようになり、最終的には移住を真剣に考えるようになって今に至ります。

B 東京での暮らしをやめて移住するとなると、いろいろな準備が必要になるかと思います。その中で特に苦労したことや印象に残ったことがあれば教えてください。

A 自分の場合はパソコンとネット環境があればそこそこ仕事のできたので、環境が変わってもそれなりに食べていけるだろうという感覚は持っていました。また、地方部ではWEB関連産業と既存産業のマッチングがまだ不十分であり、**自分のスキルが地域をもっと豊かにできるんじゃないか、地域にこそビジネスチャンスがあるのではないか**、と感じていたことも自分の移住決断のハードルを下げてくれたのだと思います。

※以下、現在の暮らしについてや失敗談、地域自慢、趣味について、写真を織り交ぜながらインタビュー記事を掲載。

参考事例

検索

- ・大熊町 「おおくまの宝」
URL : <http://okuma-machizukuri.blogspot.com/2020/04/41.html>
- ・滋賀県 長浜市 「湖北の暮らし案内所 どんどん」
URL : <http://dondonbashi.com/>
- ・岐阜県 各務ヶ原市 「かがみがはら暮らし委員会」
URL : <https://kakamigaharakurashi.com/>
- ・島根県 海士町 「ないものはないラボ」
URL : <https://naimonohanai.net/>
- ・長野県 塩尻市 「塩尻耕人」
URL : <http://www.shiojiri-koujin.jp/>
- ・香川県 (株)オフィスブランシアン 「ガーカガワ」
URL : <https://pugkko.com/>
- ・(株)イーアイテム 「ジモコロ」
URL : <https://www.e-aidem.com/ch/jimocoro/>



沸き上がれ地域愛！つながるアイデア甲子園事業

●検討の元となった双葉郡の現状認識・地域課題●

双葉郡では、震災後、若年人口の減少が進んでいるが、全国的には社会貢献意識の高い若者は多く、被災地への関心も高い。

そうした若者たちと被災地の復興を始めとする地域課題について共に考える機会があれば、若者・地元住民双方にとって良い刺激になるのではないか？

① (大)
 関係人口レベル ★★★★★☆
 事業難易度 ★★★★★★
 予算規模 ★★★★★☆

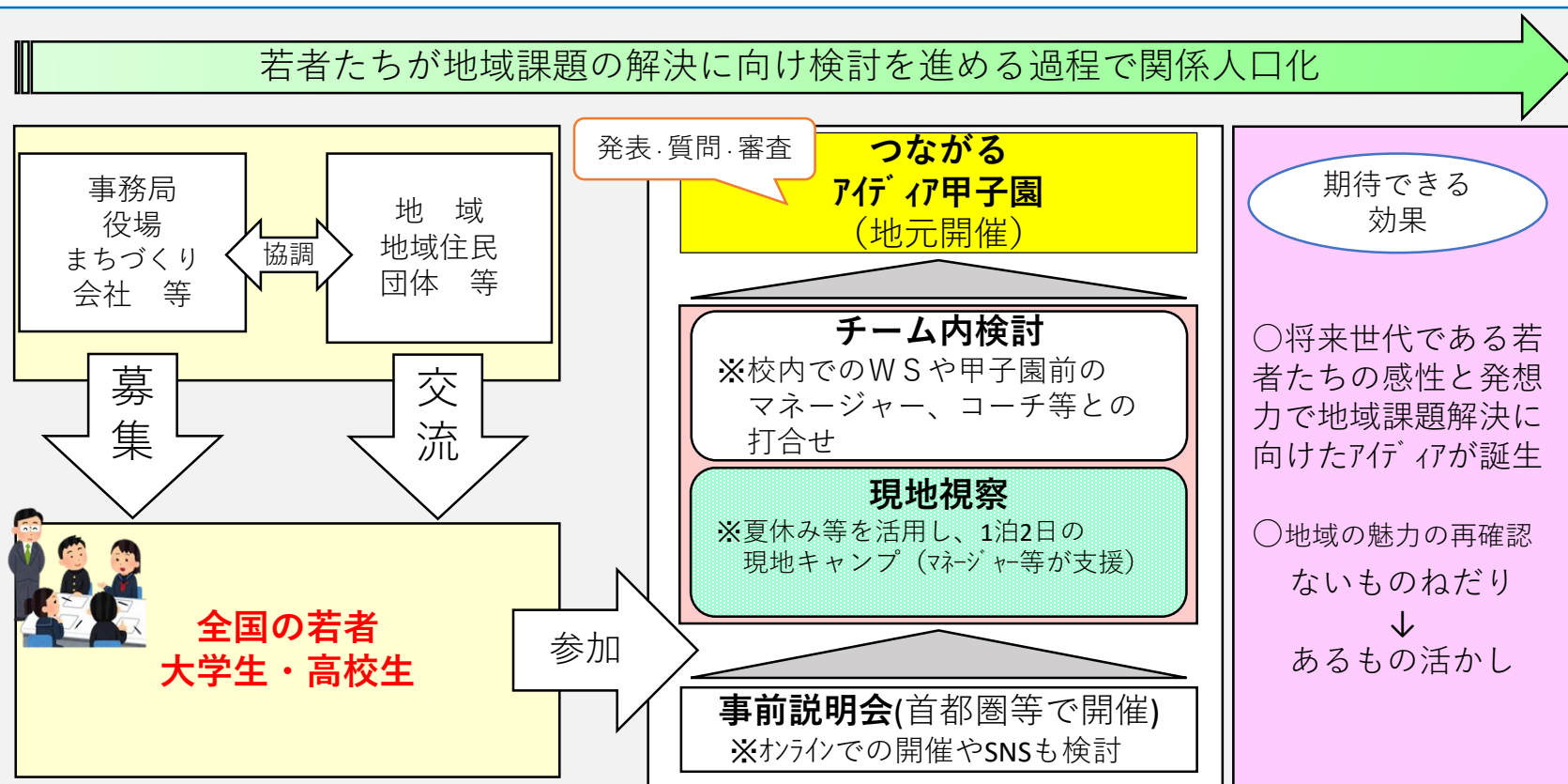
テーマ

沸き上がれ地域愛！つながるアイデア甲子園事業

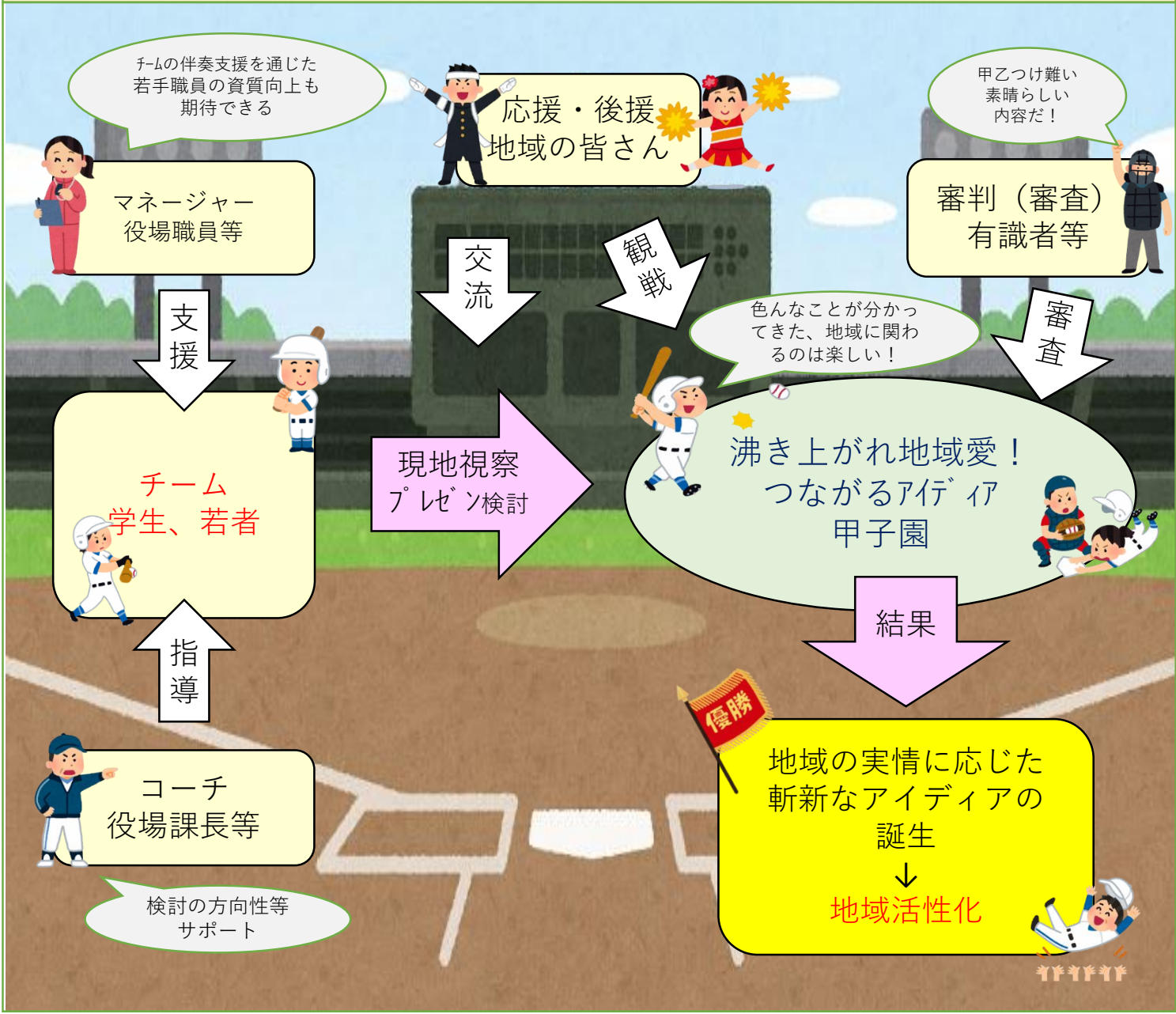
事業の概要

地域づくりに関心のある大学生・高校生を対象に、チーム単位（学校対抗）で地域活性化のアイデアを発表し競い合うイベントを開催する。「現地視察＝キャンプ」「学生を支援する役場職員＝マネージャー」「アイデアの発表＝攻撃」「他校からの質問タイム＝守り」等、様々な野球要素を取り入れ、関係者全員がゆるく楽しめる「甲子園」を通じ、若者の多様な視点での地域おこしプランの発掘とともに、若者が事業実施を通じて地域に愛着を持ち関係人口化を促すことを事業目的とする。優勝校を表彰するほか、優秀施策については自治体事業も視野に検討を行う。

取組イメージ



全体のイメージ



イベントを盛り上げるアイデア

- ヒーローインタビューもあったら面白い
- 入場行進や選手宣誓もできそう
- 毎年開催優勝旗の作成
- 応援は? 吹奏楽? 疍?
- テーマは復興?
- 期間は夏休み? それとも通年?
- 始球式やウグイス嬢も?

参考：〇〇甲子園

京都府福知山公立大学「田舎力甲子園」



- 農水省 「聞き書き甲子園」
- 愛媛県 「行革甲子園」
- いわき市 「フラガールズ 甲子園」

事前説明会・現地視察・全体スケジュールについて

1 事前説明会

首都圏で開催（学生が参加しやすいよう土日に設定、遠隔地等に配慮したオンラインでの開催、SNSでの周知等、時勢に合わせたPRを行う）

(1) オープニング

- 主催者あいさつ
- 開催自治体の紹介（イメージビデオ上映+復興状況等のプレゼン）

(2) 開催概要説明

- 大会趣旨・全体スケジュール等
- チーム人数：3～5名（同一校2チームまでエントリー可）
- 募集チーム数：9チーム（原則エントリー順、定員となったら締め切る）
- 参加条件
 - ・全てのイベントに参加可能であること。等
- 甲子園で競うテーマの設定
 - 自治体としてどんなアイデアを求めているのか、実情に応じて適切に設定することが重要。
 - ※特定課題を明確にして企画を募る方が取り組みやすい（○○町を△△の日本一のまちにする。等）
 - ※白紙の状態から企画を募る（観光施策、移住定住策、福祉政策・・・何でもあり、参加者の自由な着想に任せる）

(3) 支援内容の説明（旅費支給）

- 旅費規程等に基づき定額支給する。※あくまでも一例（予算による）
- 現地視察にかかる旅費（1泊2日）
- 甲子園参加にかかる旅費（1泊2日）

(4) その他

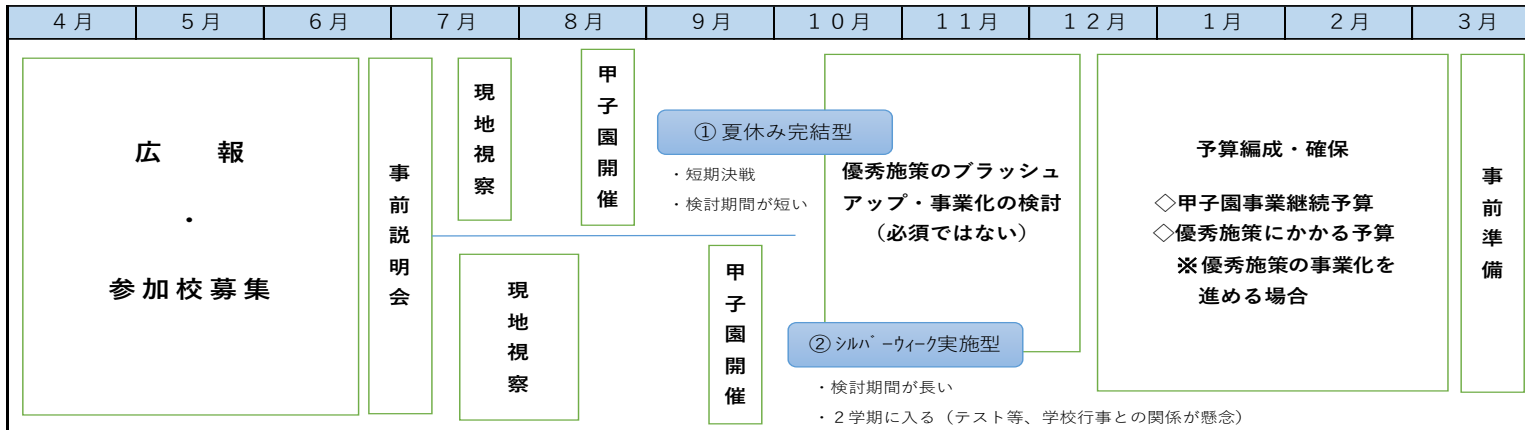
- 甲子園開催の前に、マネージャー等（役場職員）との打合せが可能。
- 甲子園の様子はビデオ撮影し、後日HPにアップすること。
- 特定のチームに密着し、メイキング動画を作成することもあり。

2 現地視察

テーマに沿った自治体の現状と課題が理解できるような内容とする。（単なる拠点施設巡りとならないよう注意）

- マネージャー役の役場職員が全行程をコーディネートする。 ○地元で活躍するキーパーソンからの案内する。
 - できるだけ少人数での視察となるよう配慮する。 ○日程の最後に振り返りWSを組み込む。
- ex. 9チーム参加⇒1班3チーム合同とし、視察順を変えて実施する。等

3 全体スケジュール

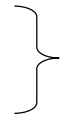


つながるアイデア甲子園開催イメージ

1.開会・・・始球式（首長あいさつ 入場行進も？）

2.試合・・・審判→司会

- 1回の表 A校の攻撃（プレゼン） 1回の裏 A校の守備（プレゼンに対する他校からの質問）
2回の表 B校の攻撃（プレゼン） 2回の裏 B校の守備（プレゼンに対する他校からの質問）



回は参加校数による

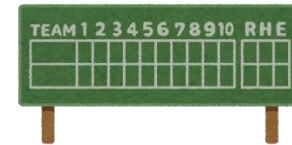
※プレゼン開始前：出場校マネージャー・コーチからのチーム紹介、激励

※時間の目安：攻撃（プレゼン）の時間は例えば9分間とする。

（3分ごとにアウトランプが1つ点灯、3つ点灯でチェンジ）

※フェアプレーやファインプレーには拍手

※回（表・裏）の終了後、司会から代表選手に苦労した点等のインタビューや有識者へ感想を聞く。



3.審査・・・有識者＋観客投票

4.結果発表等

- ・優勝校 準優勝校の発表
- ・優勝旗の授与
（記念品、号外発行、図書券等も別途用意）
- ・ヒーローインタビュー
- ・有識者（審査委員長）による総括コメント



5.閉会

6.交流会

- ・ 京都府 福知山公立大学 「田舎力甲子園」
URL : <https://www.fukuchiyama.ac.jp/news/11013/>
- ・ 農林水産省 「聞き書き甲子園」
URL : <https://www.kikigaki.net/>
- ・ 愛媛県 「行革甲子園」
URL : <https://www.pref.ehime.jp/h10800/shichoshinko/renkei/gyoukakukoushien.html>
- ・ いわき市 NPO法人フラガールズ甲子園事務局 「フラガールズ甲子園」
URL : <http://www.hula-girls.net/>
- ・ 愛知県 長久手市 「長久手市学生まちづくり甲子園」
URL : <https://www.city.nagakute.lg.jp/keiei/kousienkanran.html>

